

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	健康づくり推進事業			事業番号	01-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	高橋 健一	健康づくり課	高橋 和行	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる	
		施策	1	心と体の健康づくりの推進	
予算事業名	市民健康増進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	努力規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	
関連法令等	健康増進法				
国・県の計画等	健康日本21 かながわ健康プラン21		計画期間	平成25年～令和4年度改定予定	
関連個別計画	健康いせはら21(第3期)計画、第3次伊勢原市食育推進計画		計画期間	平成30年～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	KDBシステムの帳票から作成された、平成27年度疾病別医療費分析(国保連合会作成)では、男女とも脂質異常症による医療費が県平均より高くなっています。また、循環器系疾患、腎不全、糖尿病など生活習慣病が重症化した疾患が医療費の多くを占めており、生活習慣病予防に自ら取り組むことができるよう、様々な機会を通じて正しい知識を普及していく必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	市民が自ら進んで健康づくりに取り組み、生活習慣の見直しや改善を図るため、医療機関等と連携した健康教育や保健師・栄養士による健康相談等を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・未病センターを継続運用し、生活習慣の改善に資する「未病を治す」取組を推進します。 ・運動への意識啓発及び習慣化を図るため、健康づくり活動にインセンティブを付与するクルリン健康事業ポイント事業を実施します。 ・コロナ禍の影響を踏まえ、自宅で健康確認ができる郵送型セルフ健康チェックサービスを活用した保健指導を実施します。 ・市民が自ら取り組む健康づくりを支援するため、健康いせはら21(第3期)計画を推進します。 				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	未病センターの設置・運用	継続運用	運用		
	クルリン健康ポイント事業	内容変更による実施	継続実施		
	郵送型血液検査の実施	継続実施	継続実施		
健康いせはら21(第3期)計画推進(平成30～令和4年度)	計画推進 市民意識調査の実施	計画推進 事業評価の実施			
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	健康相談・健康教育の参加者数	1,600人 (令和2年度)	6,650人	6,750人	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	感染症対策を講じながらの事業を実施していきます。大規模な講座の実施は行わない予定ですが、働く世代の健康無関心層への支援が行えるように、事業所での健康づくり事業に取り組みます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	未病センターの設置・運用	継続運用	継続運用
	クルリン健康ポイント事業	後期高齢者を対象に実施	習慣化アプリを活用しての実施
	郵送型血液検査の実施	継続実施	継続実施
健康いせはら21(第3期)計画推進(平成30～令和4年度)	市民意識調査の実施	最終評価を実施	
実施した取組の内容	生活習慣病予備群の市民を対象に習慣化アプリとグルコース測定器を併用しての事業を実施しました。また、この事業を働く世代を対象とするため、(株)アマダと協同して事業を実施しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	健康相談・健康教育の参加者数	1,600人 (令和2年度)	2,951人
		令和4年度	2,303人

	年度		令和3年度 実績		令和4年度 実績		
内訳	事業費合計 (a)		15,279	千円	16,199	千円	
	内訳	国県支出金 ①	1,778	千円	2,375	千円	
		地方債 ②	0	千円	0	千円	
		その他特財 ③	2,806	千円	516	千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	10,695	千円	13,308	千円	
国県支出金の内容		市町村健康事業費補助金 1,074千円補助率: 国1/3、県1/3、市1/3 コロナ対応地方創生臨時交付金1,105千円 未病月間等推進事業補助金196千円					
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期		
		その他	市民ファンド416千円 企業版ふるさと納税100千円				
人件費	正規職員		1.1	人	8,998	千円	
	その他の職員		0.1	人	304	千円	
	人件費合計 (b)		1.2	人	9,302	千円	
トータルコスト (a)+(b)				24,581	千円	25,958	千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民	
		対象数	101,381	人	101,119	人	
	総事業費 / 対象数	242	円	257	円		

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左判断理由	感染症の拡大防止を考慮しながらの事業実施としました。スマートフォンのアプリを活用した事業は計画どおりの実施が可能でした。しかし、働く世代を対象として、事業所等へ出張しての健康測定会については、希望が少なく、また、スタッフを対象として実施予定であった福祉施設での実施は中止となりました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	未病センター・健康いせはら21計画に基づく事業共に他市とほぼ同じ内容の取り組みを実施しています。郵送型血液検査事業は、県内でも3市程度の実施であり、その事業では他市より高い水準での実施です。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左判断理由	主流であった対面式での健康教育・健康相談に加え、コロナ禍において、スマートフォンのアプリを利用しての事業を実施しました。これにより、働く世代の事業参加がしやすくなり、有効性が高い事業を展開できました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左判断理由	感染症患者の拡大時期にも、実施可能であるスマートフォンのアプリを利用し健康増進事業を効率的に実施することができました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	新たな手法を積極的に活用し、市民の健康増進に寄与できるよりよい方法を常にアップデートしながら事業を推進していくことを期待します。